

2017/04/06(木)22:27

科目番号	授業科目	英語科目名	単位
25878	コンピュータプログラミング2	Computer Programming II	2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員
2017年度 前期	金曜2限	講義・演習	今野 英明
科目区分	<p>専攻科目 (国際協働グループ) 異なる国や民族・地域・文化・社会をつなぐ国際協働の現場において必要となる、グローバルな実践的課題解決能力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域政策グループ) 地方行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団や企業などとの多様なネットワークを構築する能力と、地域の課題解決に取り組む実行力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域環境科学グループ) 地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身につけ、さらに、新たな知識・技能を主体的に学び続けようとする態度、探究力、批判的な思考力などを身につけることを目的とする。</p>		
授業概要	この授業は「コンピュータプログラミングI/プログラミング入門」に続くプログラミングの授業であり、C言語で実用的なプログラムを作成するために必要となる事柄を学ぶ授業である。さらに、アルゴリズムやデータ構造などのより発展的な計算機科学を学ぶための基礎となるものである。		
対応するディプロマ・ポリシー			
到達目標	C言語における以下の概念を理解し、利用できること。 1. 関数 2. 配列 3. ポインタ 4. 文字列 5. 構造体		
授業計画	第1週 授業概要と「プログラミング入門」の復習問題 第2週 関数呼び出しと関数定義 第3週 変数の種類と性質 第4週 標準ライブラリ関数の利用 第5週 配列 第6週 二次元配列 第7週 ポインタの基礎 第8週 ポインタを引数とする関数呼び出し 第9週 ポインタと配列 第10週 文字と文字列 第11週 文字列とポインタ 第12週 文字と文字列操作のライブラリ関数 第13週 構造体(1) 第14週 構造体(2) 第15週 試験		
成績評価	学期末試験に合格することが単位修得の前提条件となる。その上で、毎時間課されるプログラミング課題の提出状況と内容(30-40%)、および試験の成績(60-70%)を総合して評価する。演習を含む授業形態となるため出席状況も重視する。欠席する毎に評価は減点となる。		
教職チェックリスト	学習指導力 それぞれの専攻・分野における講義・演習などを通して、専門領域(科目)で求められる基礎的あるいは専門的な知識や技能を発達段階・学年の進行に伴ってより深く理解し、習得する。・専門領域(科目)で求められる論理的な思考力や表現力を身につけるとともに、専門領域(科目)の様々な事象に対する関心や意欲を育む。 ・追求すべき問題を見つけ、必要な資料や文献を収集・分析・活用しながら、問題を解決していくための基本的な技能を習得する。・資料・文献を分析し、得られた知識や情報、それに対する自分なりの見解を適切にまとめ、発表する。・研究についての基本的事項を身につけ、研究の成果を発表する。		
テキスト	指定しない。 授業資料は大学教育情報システムに掲載するので、印刷して持参するのが望ましい。		

参考文献	「C 言語プログラミング」H. M. ダイテル, P. J. ダイテル (ピアソンエデュケーション) 「改訂第 3 版 C 言語入門」L. Hancock, M. Krieger, S. Zamir 著(アスキー) 「プログラミング言語 C 第 2 版」B. W. カーニハン, D. M. リッチー 著 (共立出版) 「プログラミング作法」Brian W. Kernighan, Rob Pike 著(アスキー) 「C言語ポインタ完全制覇」前橋 和弥(技術評論社) 「詳説 Cポインタ」Richard Reese(オライリージャパン)
オフィス・アワー	月曜日・5時限・研究室
関連する授業科目	コンピュータプログラミング1/プログラミング入門
備考(履修上の注意等)	・履修条件:コンピュータプログラミング1/プログラミング入門の単位を修得済みであるか、あるいはこれに相当する知識や技能を有していること。コンピュータプログラミング1/プログラミング入門を履修していない学生は事前に授業担当教員に相談のこと。 ・演習問題などは http://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/db/769/ に掲載する。